

TC00125_ESE マスター時計うるう秒設定

S.C.ALLIANCE Inc.
SCA サウンドソリューションズ社

内蔵水晶を基準に自走、または外部からパルスを受けているマスター時計は、うるう秒の補正操作が必要です。

該当機種

ES-160A、ES-160U、ES-160E
ES-194U、LX-194U
ES-194A、LX-194A
ES-192
ES-911/TSM

いずれも、秒パルス校正、または自走タイプ。
オプションで、分・時パルス補正の採用のユニットは自動修整されます。

ES-160A、ES-160U、ES-160E について

秒パルス間隔を 100 秒前から 1 秒を 1.01 秒にするシステムで自動追従をする場合、7msec/Pulse 補正タイプのファームウェアが必要です。

5msec/Pulse 補正の機器は、上記システムでは正しく実行されません。

修整操作

外部パルスのみで上記の機種を時刻校正している場合、国内では「うるう秒」調整実施日 AM9 : 00 の時点で、JST に対し 1 秒早い時刻を表示します。

1 秒ズレは以下の方法で修正してください。

具体的にはマスター時計を 1 秒遅らせる動作となります。

内蔵水晶を基準に自走する機種 (ES-911/TSM) の場合も、同様に手動での修正を行ってください。

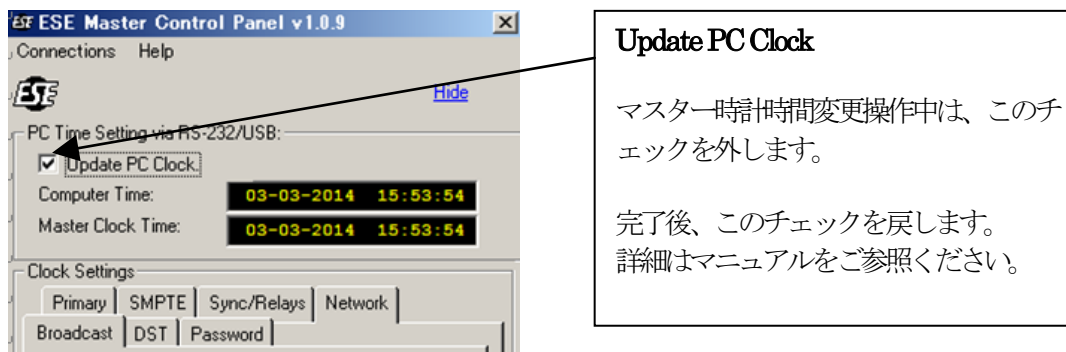
1. JST に対し、マスター時計の表示が 1 秒早いことを確認します。
※ ES-911/TSM (内蔵水晶で自走) の場合は累積誤差により 1 秒以上ずれている場合もあります。
2. 誤操作で、システム時間をずらさないため、時刻データを受ける機器の補正受付を停止してください。
3. ES-160A、ES-160U、ES-160E 及び ES-911/TSM を使用している場合は、リアパネルの TIME SET スイッチを ENABLE にしてください。
4. フロントパネルにある SELECT/SET トグルスイッチを 1 秒ほど SET 側に倒し、すぐに手を離してください。SET 側に倒している間、時計は停止します。
注: 必ず 1.5 秒以内にしてください。1.5 秒以上倒しますと、JST に対し 1 秒遅れてしまいます。
ES-911/TSM (内蔵水晶で自走) の場合は手動で秒頭も合わせてください。
5. その後機器は外部パルスに従い、秒頭を自動調整いたします。秒パルスを受けている場合、秒頭がパルスに同期するまでに、最大で 100 秒かかります。
※ ES-911/TSM (内蔵水晶で自走) の場合は外部パルスによる同期はありません (全て手動)。
6. JST と機器の時計が同じ時刻であることを確認してください。
7. ES-160A、ES-160U、ES-160E 及び ES-911/TSM を使用している場合は、リアパネルの TIME SET スイッチを DISABLE にしてください。
8. 時刻データを受ける機器の補正受付を再開してください。

時刻データを受ける機器の補正受付停止・再開操作

受けるアプリを一時停止または物理的にケーブルを外す方法があります。

- ① スレーブ側の時刻修正アプリを一時的に停止する。
- ② マスター時計の出力ケーブルを一時的に外す。

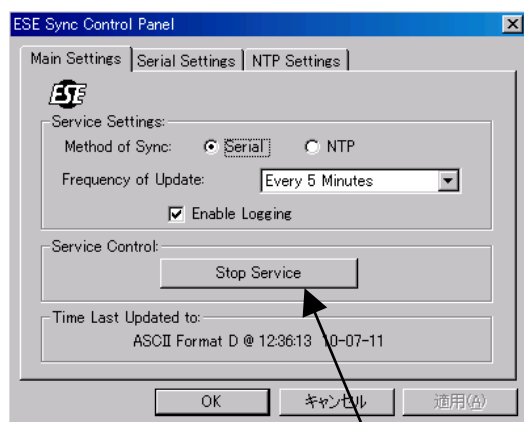
① 1. MASTER CONTROL PANEL アプリの停止方法



① 2. ESE SYNC Control Panel の停止方法



デスクトップの ESE Time Sync をダブルクリックで開きます。



Stop Service と表示 時刻校正動作中。
 Start Service と表示 時刻校正していません。

マスター時計 時間変更操作中は、**Start Service** 表示の状態にします。

② マスター時計の出力ケーブルを一時的に外す。

使用しているスレーブ出力のコネクタを外します。

USB, DB9(シリアル), ESE TC 出力, NTP 出力など